

# やしお駅前公園プロジェクト

## プロジェクト概要

「八潮街並みづくり 100 年運動」において取り組むことになったやしお駅前公園プロジェクト。駅前公園ならではの魅力、八潮の「かお」となる公園、ほかの街からも来なくなる公園など、これからの「街」と「公園」のより良い関係を目指して、八潮市で行われた市民ワークショップや商工会による公園提案を踏まえ、デザインの検討を行った。2010 年度に行ったワークショップでは、各大学ごとに事例調査やフィールドワークを行い、5 つの大学でデザインする強みをどのように活かせるのかなどを考えながら作業を進めた。2010 年度、1 年間を通して検討を行ってきた公園計画は、最終的に「ヤシオカ公園」案を基本とすることにまとまった。

2009

市民ワークショップ  
Citizen Workshop

商工会による公園提案  
Park Proposal

2010

第 1 回ワークショップ  
1st Workshop

- 2010.6.19
- 公園フィールドワーク
- 公園事例調査
- 駅前公園事例のリスト化

市民への意見調査  
Idea Survey for citizen

第 3 回ワークショップ  
3rd Workshop

- 2010.7.30
- 小さな建築群
- 重層設計プロセス
- ヤシオイイベント広場
- ヤシオエキマエノ森
- もりプラン
- つまみプラン
- ねじれプラン
- ルーフプラン
- Transductive-enclosure
- 八潮スカイラインズ

第 2 回ワークショップ  
2nd Workshop

- 2010.7.19
- 1 つの公園像
- 人の現象への着目
- 八潮らしさ VS 公園らしさ
- ヤシオパーク
- 二面性を持つ駅前公園

第 1 回ワークショップ

1st Workshop

2010.6.19



▲ WS の様子

### 事前調査報告会

駅前公園のデザインの検討にあたり各大学が事前に調査し、その報告会を行った。国内外から事例を収集し、八潮市の新しい顔となる公園のきっかけを探った。

第 2 回ワークショップ

2nd Workshop

2010.7.19



▲日本工業大学の提案の一部

### 各大学が設計方法を提案

事前調査を基に各大学がそれぞれ駅前公園のデザインの方法を提案した。ひとつの敷地を 5 大学でどのように分担し、デザイン検討していくなどの議論がなされた。

第 3 回ワークショップ

3rd Workshop

2010.7.30



▲学生が先生方に案の発表

### 各大学が計画案を発表

第 1・2 回のワークショップでの報告を基に、各大学が計画案を発表した。大学連携では、周辺環境を踏まえた計画などバリエーションに富んだ案が提示された。

第 4 回ワークショップ

4th Workshop

2010.8.8-9



▲5 大学が共同で作業を行う

### 案を絞り、共同作業を開始

各大学が案を一つにまとめ発表、「神戸大学+神奈川大学」「リミックス」「つまみ丘公園」の 3 案に計画を絞り、5 大学の共同による作業を開始した。

外交官（調整担当者）会議  
Diplomat Meeting

2010.8.23

第6回ワークショップ  
6th Workshop

2010.9.18-19

- ・100 活園
- ・八潮大地
- ・ヤシオカ公園

第4回ワークショップ  
4th Workshop

2010.8.8-9

- ・活動の森
- ・Re:mix 設計プロセス
- ・全体が一つの丘であり  
様々な場を内包する公園
- ・つまみプラン

第5回ワークショップ  
5th Workshop

2010.9.1

- ・活動の波紋
- ・リミックス+丘
- ・ヤシオカ公園

神戸ワークショップ  
Kobe Workshop

2010.10.16

やしお駅前公園  
Yashio Station Park

2015.3 完成予定

第5回ワークショップ  
5th Workshop

2010.9.1



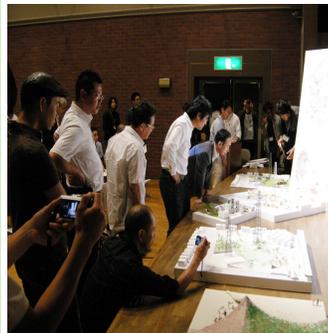
▲模型を使った会議の様子

### 選抜3案の発表、講評

「活動の波紋」「リミックス+丘」「ヤシオカ公園」の3つの案の発表、講評を行った。各要素がうまくまとめられバランスをとりつつ計画が進められた。

第6回ワークショップ  
6th Workshop

2010.9.18-19



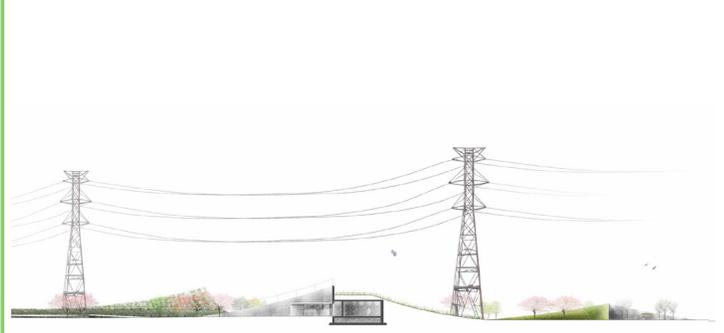
▲模型をのぞき込む多田前市長

### 市長、関係者に発表

第5回ワークショップで出た意見やアイデアなどを踏まえ、「100活園」「八潮大地」「ヤシオカ公園」の3案がまとめられ、市長や関係者への発表が行われた。

やしお駅前公園  
Yashio Station Park

2015.3 完成予定



### 4年越しの計画が実現

2010年度に「ヤシオカ公園」案を基本とすることでまとまった、やしお駅前公園プロジェクトは、日本工業大学が中心となって全体のデザイン計画を詰め、ディテールの検討などを進めた。また、公園整備を行う八潮市においては、このデザイン計画を受け、基本設計、実施設計に反映し、公園整備工事が進められた。

## 設計への事前調査

プロジェクトをはじめると同時に、公園に必要な要素や条件を把握するため、各大学で役割分担をし、植栽・親水・遊具・照明などについて調査した。国内外から事例を収集し、やしお駅前公園の基本デザインの土台をつくった。大学ごとにグループに分かれ現地調査を行い、駅前公園に何が求められているのか、どのように協力すれば、5つの大学でデザイン検討する強みが活かせるのかなどを考え、公園の検討を進めていくことを確認した。



▲ WSの様子

### 公園事例 駅前

- ・他の立地条件と比べて、遊具、緑地などの要素をもつことが少ない
- ・一方で、駅前という性質からか、ランドマーク性をもつモニュメントが多い



名称：阪神尼崎駅前  
所在地：兵庫県尼崎市神田中通1丁目・神田北通1丁目9番地  
規模：1.23ha  
設計：環境設計㈱

▲茨城大学が収集した公園事例の1つ

### Volume United Visual Artists

人間の動きに合わせて変化するLEDのインスタレーション。3か月という長い期間、博物館のエントランスに設置されていた。  
46本円柱型のLEDを使い、森のようなボリュームのある照明と音で、団体でも個人でも探検できるような空間を演出した。それぞれの柱にスピーカーがついている。

site: ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館  
(ロンドン)



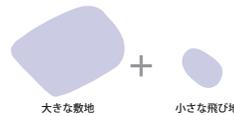
▲神奈川大学が収集した照明の事例

## 公園デザインの検討方法を議論

1つの敷地を5大学でどのように連携して公園デザインの計画としていくかを、各大学が提案し議論を行った。単に敷地を5つに分割するという方法ではない、連携5大学の関わり方を考えた。

1つのコンセプトのもとで、分割した敷地に各大学が設計するという神奈川県大学の案や、各大学の範囲に、他の大学の小さな範囲が入り込むことで多様な関係性を生み出すという、日本工業大学の案（飛び地システム）、人の速度・密度、光質など、八潮駅前で起こる人の様々な現象に着目した公園とすることで、訪れる人によって、公園の風景がつけられるという信州大学の案など様々な提案がなされ、公園デザインを進める上での方針を確認した。

1 各大学が大きな敷地と、小さな飛び地を担当する。



2 飛び地は、他の大学が担当する大きな敷地の中に入り込む。



3 それらが5つあつまることで八潮公園ができてあがる。多様なシーンとアクティビティが発生する。



▲日本工業大学が提案した「飛び地システム」



▲「飛び地システム」により想定された各大学の敷地



▲各大学が提案した模型

▲ WSの様子

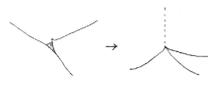
## 各大学が計画案を提案

第1・2回ワークショップを基に、連携5大学がそれぞれ個別に公園計画を提案した。

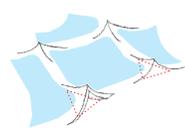
2008・2009年の調査を踏まえ5つのデザイン要素を抽出し、それぞれの要素に見合った設計を1つに統合することでズレを生み出すという東京理科大学の案など、各大学が第2回ワークショップでの意見・アイデアを踏まえて公園の計画案を提示した。

## つまみプラン

日本工業大学が提案した4つのプランのうちの1つ。地面をつまみ上げ景色や活動に表情を出す、というプランであり、起伏を1つのポイントとして様々な場をつくるという提案。



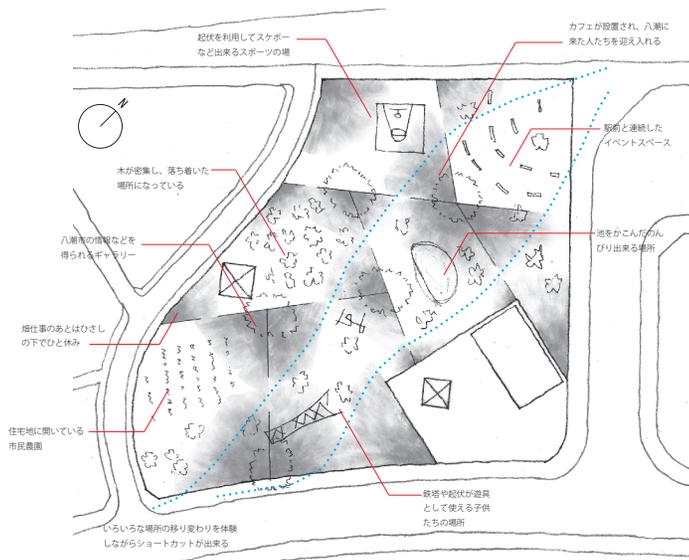
地面に切れ目を入れ、つまみあげたような起伏をつくる



この起伏は面を分節するポイントとして点在し、建築にもなる



建築になるポイントを5つ作り、5大学で分担して設計。ポイントの頂点には大きな木を植えて木陰で休めるようにする。



## 計画案を統合、共同設計を開始

第3回ワークショップの成果に基づき、各大学がブラッシュアップした案をまとめ発表を行った。発表を踏まえて、5つの案を3案に統合し共同設計を開始した。

ヒューマンスケールに特化した神戸大学案とヒューマンアクティビティを考える神奈川大学案を合わせた「神戸大学+神奈川大学」、信州大学の案を基にし茨城大学の案で補完する「リミックス」、日本工業大学の案を発展させていく「つまみ丘公園」の3案とする方針が固まった。



◀各大学の5つの提案  
これらを組み合わせることで3案にまとめあげた

選抜3案の発表、講評

第4回のワークショップでまとめられた「神戸大学+神奈川大学」「リミックス」「つまみ丘公園」の3案に5大学の学生を振り分けて作業し、まとめたものについて発表、講評を行った。

「活動の波紋」「リミックス+丘」「ヤシオカ公園」のそれぞれについて先生を交えて意見交換し、次回ワークショップに向けてのブラッシュアップの方針を確認した。



活動の波紋

細分化された多数の小公園が集まる。さらに、公園としての機能を満たす為に、トイレ、防災備蓄倉庫、イベント広場、などの配置を具体化した。



リミックス+丘

各大学が持ち寄った案をミックスさせてつくった丘をもつ計画案。各要素がうまく横断、共存できるバランスをとりつつ計画が進んだ。



ヤシオカ公園

8/21の外交官（調整担当者）会議においてまとめた案をブラッシュアップした計画案。駅から街への主要動線など、より具体的な条件が反映された。

市長、関係者らに選抜3案をプレゼンテーション

第5回ワークショップで出た意見やアイデアなどを踏まえ、「100活園」「八潮大地」「ヤシオカ公園」の3案にまとめられ、市長や関係者らへのプレゼンテーションが行われた。



▲100活園 模型写真



▲八潮大地 平面図



▲ヤシオカ公園 平面図



▲ヤシオカ公園 八潮駅側から見たイメージパース

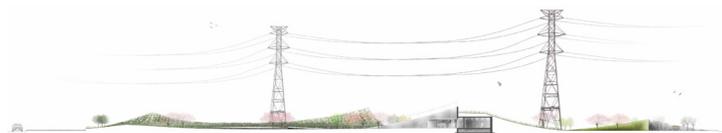
## 2010 年度に始まった計画が実現

2010 年度、1 年間を通してデザインを検討してきたやしお駅前公園プロジェクトは、「ヤシオカ公園」案を基本とすることでまとまった。その後、日本工業大学が中心となって全体のデザイン計画を詰め、ディテールの検討などを進めた。

公園整備を行う八潮市においては、これらのデザイン計画を受け、基本設計（2010 年度）、実施設計（2011、2012 年度）に反映し、2015 年月のオープンに向けて整備工事が進められることになった。今後、この公園を訪れる市民の方々や利用者に、未永く愛されることを期待してやまない。



▲最終案 平面図



▲最終案 断面図